

産業保健Q & A（職場に常備する救急用品関連）

No.	質問	回答例
1	<p>・事業場内に工場がいくつかあり、今は各工場に救急箱を置いている。</p> <p>・救急箱を事業場に1つだけにしてもよいでしょうか？</p>	<p>・一概には言えません。 想定されるケガによって考え方が変わります。</p> <p>・大量出血するようなケガが想定されるのであれば、止血等緊急性が要求されます。</p> <p>・そのような場合はすぐに取りに行ける場所に止血帯を置いておく・・・というように起こりうるケガの程度、緊急性等を想定してどの程度の距離・範囲に置くかを決めて行けばよいと思います。</p>
2	<p>・骨折災害の救急用品として副木（副子）を購入して職場に備えようと思うがどうでしょうか？</p>	<p>・副木は不要です。 初心者には手間取るため救急搬送が最適です。</p> <p>・打撲症状が引かない時は骨折を疑って早く救急車を要請して下さい。</p>
3	<p>・熱中症が発生した時の救急用品として熱中症救急セットを購入して職場に備えようと思うがどうでしょうか？</p>	<p>・お勧めします、常備するようにした方がよいと思います。</p>
4	<p>・作業場のゴミが目に入った時の救急用品として洗眼薬携帯式洗眼器を購入して職場に備えようと思うがどうでしょうか？</p>	<p>・作業場のダストのpHに注意して下さい。</p> <p>・ダストがアルカリ性であれば浄水で洗眼して下さい。</p>
5	<p>・打撲したときの救急用品として消炎スプレーや冷却ジェルを購入して職場に備えようと思うがどうでしょうか？</p>	<p>・痛みを抑えてしまうと骨折などの判断を誤ることがあるので備えない方がよいと思います。</p>